

学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 10

平成30年1月31日

受け継いでいきたいこと

校長 岡本明彦

新年を迎え、地域の皆様、保護者の皆様におかれましては穏やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。新年早々大雪の日があったり、極寒の日があったり不安定な気候が続きました。学校までの通学路も排雪が進み安心しておりましたら、またも降雪で除雪に追われています。

そのような中でも、冬期休業中にもPTA役員の皆様が中心になって生徒の安全のために校下の見守りを二回行っていただいております。うちの子もとなりの子も北門中生は、みな我が子として育てていく取組です。心より感謝申し上げますと同時にいつまでもこの伝統をつなげたいものだと願います。

さて、正月明けの晴れの成人式に晴れ着や着付けをする業者が突然営業を中止するという事件がありました。私が子どもの頃は、着物を着る必要があるときは、ご近所に着付けのできる方が何人かいて交代でしていたような気がします。その頃でも、成人式や結婚式に着ていく振り袖は専門家の方が着付けを行っていました。着物は日本人に一番似合う衣装であると思います。若い方にも身に付けていただき、着物の文化も大切にしたいものだと思います。

1月22日・23日には1・2学年のスキー授業がありました。今年もスキー学校のインストラクターの先生方が指導をしてくださいました。室内に閉じこもりがちな北海道の冬、それぞれの年代がそれぞれのレベルで楽しむことができるスキーは生涯スポーツです。しかしながら、冬の楽しみであったスキーの愛好者が減りつつあるのは寂しい限りです。平昌オリンピックも開幕します。道産子選手の活躍で北海道の冬のスポーツを楽しむ機運が盛り上がればと願います。

始業式の中で…!

《各学年代表発表 ～一部抜粋～》

○浦瀧 凜さん（1年4組）

・今日から3学期が始まり、いつもの生活に戻ります。私のクラスはとても仲の良いクラスです。このメンバーで過ごす残り少ない時間、思いやりの心をもって皆が一人一人を大切にできるような学級にしたいです。そして、1学年全員が落ち着いた生活をし、2年生に上がる準備をできたらいいなと思います。



○窪田芽依さん（2年4組）

・今年の冬休みは、いつ何をするのかを事前に考えて過ごしたおかげで、計画的に宿題を終わらせることができ、部活や友達と過ごす時間も充分にとることができ、今まで以上に有意義な冬休みを過ごすことができました。今日から学校は3学期です。相手のことを今まで以上に考えて行動したり、当たり前のことを当たり前のように人間的にも大きく成長していきたいと思っています。



○菅原香織さん（3年4組）

・3学期は3年生にとって特に大事な時期だと思います。受験は今までのように甘い考えでは乗り越えられない壁だと思うので、心を入れ換え、健康管理にも気を付けて臨みたいと思います。また、今のクラスでいるのも最後なので、友達やクラスメイトとの楽しい思い出なども作りたと思います。この3学期は、すべてが終わった時に後悔しない3学期になるように頑張ります。



小中連携・一貫教育合同研修会を開催

○1月15日、教育委員会から小嶋コーディネーターをお招きし、北門中学校区小中連携・一貫教育合同研修会を開催しました。校区内の近文小・大有小・北光小、そして北門中の先生方22名が一堂に会し、大変活気あふれる研修会となりました。



この取組は、児童生徒の連続的な学びや小中のスムーズな接続を目的として行われており、全体研修では、授業交流週間の反省や実践シートを基にこれまでの取組や全国学力・学習状況調査の結果について交流しました。その後のグループ研修では、メディアに触れる時間が多いこと、家庭学習の取組が不十分であること、学習規律（揃える教育）の徹底の必要性などについて、多くの意見が出されました。今後も、小中間を調整し、協働の取組に向けてより一層の共通理解を図っていくことが確認されました。



※授業交流週間 11月7日～11日、21日～25日の2週間